



令和4年(2022年)1月11日

理事長 渡辺 弘

健翔会本部

2021年の報告

2021年3月

理事会

令和3年度予算審議

令和2年度補正予算審議

2021年5月

監事監査

理事会

令和2年度決算

2021年6月

評議員会

令和2年度決算

2021年11月

理事会

事業活動経過報告

予算執行状況報告

2021年12月

臨時理事会

新規事業計画

2021年12月

臨時評議員会

新規事業計画の承認

2022年の予定

2022年3月

理事会

2022年度予算審議

2021年度補正予算審議

2022年5月

監事監査

理事会

2021年度決算

2022年6月

評議員会

2021年度決算承認

2022年11月

理事会 中間報告



2021年12月
クリスマス会(麦の穂・大地)を
観覧する理事長(左)



第9回健翔会運動会にて

コロナ禍ですが、行田市総合体育館のメインアリーナを使用して、120名が集まる運動会を開催できたことに運営スタッフの功労を称え、またマスクを着けずに運動できる場所もなく、障害特性に応じた支援の重要性を再確認する必要があると挨拶する渡辺理事長。

新年のスタートに当たり、ご利用者(児)の皆様、ご家族の皆様、そして役職員の皆様に年頭のご挨拶を申し上げます。

私の住む埼玉県行田市では雲一つない晴天となり、初日の出がとてもきれいでした。私は数年前よりひざを痛め、長距離を歩くのが難しいこともあり、近くにある行田市で一番高い陸橋で初日の出を望みました。第98回箱根駅伝は、「パワフル大作戦」として青山学院大が3区から首位をキープ、終わってみれば青学が、往路・復路・総合で全て優勝しました。また、大会記録を大幅に更新するなど、圧倒的な強さを見せられました。

三元日はTV観覧でした。記憶に残ったのは、歌舞伎役者の市川海老蔵さんがTVの取材で、「歌舞伎は昔話を演じるものではなく、今話題のモノやコトを演じるから歌舞伎なんです。歌舞伎ものは時代の最先端の人のことなんです。皆さんの歌舞伎に対する見方を変えていきたいです。」と語っていたことです。

2021年(令和3年)の地域・国内・世界の出来事



2021年も新型コロナウイルス感染症が話題の中心でした。2019年11月に中国で感染が始まり、2020年には横浜港に「ダイヤモンドプリンセス号」が感染者を乗せた状態で寄港。瞬く間に日本中に新型コロナウイルス感染が拡大していきました。3密の回避、マスク着用、手指消毒、緊急事態宣言、まん延防止対策など様々な対策を展開した2021年。1年延期されたオリンピックはなんと無観客で開催されました。TV観戦でしたが感動的なシーンも多く、日本は過去最高個数のメダルを獲得しました。

オリンピックを前後して、集団接種、巡回・職域接種などコロナワクチンの接種が進みました。その結、2021

年の10月以降、日本の新規感染者は100人に満たない日が続きました。これは一安心です。

アメリカ大統領がバイデン氏に代わりました。対外政策は協調路線へ変化、地球温暖化対策のためパリ協定を遵守するようになりました。一方、中国との覇権争いは続いており、互いに強硬な姿勢のままです。このため、コロナ禍からV字回復したアメリカへ輸送するコンテナが足りず運賃が6倍になっています。ほとんど輸入に頼る日本はこの悪影響に脅かされています。

ミャンマーでは2月、軍が権力を掌握。クーデターが起きました。最大都市ヤンゴンなどで連日、市民らが抗議デモを繰り返していますが、軍はこれを力で弾圧。既に1000人を超える死者が発生する事態となっています。また、中国では新疆ウイグル自治区のイスラム系少数民族ウイグル族にジェノサイド(集団虐殺)を行っていたとイギリス民法が認定しました。人命尊重が待たれます。



2021年5月
理事会にて前年度決算状況等を
報告する理事長



2021年11月 理事会
評議員のオブザーバー出席あり



2021年12月
忘年会で事業所対抗ゲームに
参加する理事長

健翔会の運営事業の紹介

障害福祉サービス事業

生活介護 麦の穂

生活介護 大地

相談支援センター くじらぐも

障害児通所支援事業

放課後等デイサービス にじいろ

障害児(者)生活サポート事業

生活サポート麦

障害児(者)日中一時支援事業

日中一時支援 大地

日中一時支援 にじいろ

収益事業

太陽光発電事業

2021年(令和3年)の健翔会を振り返る

2021年は我慢を強いられた1年でした。叫ばれ続けた三密の回避。すべての活動に「制約」がありました。一方健翔会では、ご利用者・職員70名が7・8月に集団でワクチン接種できました。行田中央総合病院様、行田市福祉課様ありがとうございました。

私たちは同じ目的や目標をもって働いています。私たちの目標は「障害のある人が地域で私たちと一緒に暮らせる社会」です。社会を変えることは難しそうですが、障害者が地域で暮らすことはできそうですね。そんな願いを込めて、福祉サービス計画を策定する相談支援センターくじらぐもを7月に立ち上げました。どんなサービスが必要なのか、ご利用者のこれからを法人



の運営と一緒に考えていくことができるようになりました。

健翔会の中期行動計画が進行しています。新たな事業の立ち上げがチーム毎に進行しています。私が書くと自画自賛になりますが、これからの健翔会がとても楽しみです。

職員の皆さんへの2022年(令和4年)のお願い

健翔会15年。職員の皆さんの力が蓄えられ、新しいことへのチャレンジができるようになりました。一念発起、意気揚々として、前途多難。良いこともあれば逆のことも起きます。しかし、ここで皆さんの仕事の中心に据えてほしいのは、「失敗してもいいので常に前に進むこと」「できない言い訳ではなく、できる提案を求められていること」です。失敗は次に成功するためのノウハウですし、できない言い訳なんて聞きたくありません。どうしたらできるのかを考えて実行する、それが健翔会スピリッツでしょう。

「今年こそ頑張ろう」と、考えるのはやめましょう。「今のあなたは、明日のあなた」です。昨年頑張れなかったり、目標を達成できなかった人は今年もできません。

そこで、皆さんへの1つ目のお願いは、目標を「1つか2つ」に絞り込みましょう。たくさん目標の中から「どうしても達成したいものを1つか

2つ」に絞り込み、残りは諦めましょう。2つ目のお願いは、目標を「1秒」で思い出せるものにしてください。「流れ星が見えたら願い事を3回言えば叶う」という話があります。これは、流れ星が見えている一瞬に願いが「思い出せるかどうか」というのがポイントです。つまり、「今年の目標は何だっけ?」という人は、日頃からそれを考えていないということです。逆に、日頃からすぐに思い出せる人は、ずっと目標を考えている。だから目標に向かって毎日やるべきことをやっているはず。結果、夢が叶う、という話なのです。

ご利用者のニーズを追い風にした新規事業を進めていくように動いていきます。それが成功するか否かは職員の皆さん一人一人の働き方だと思えます。真摯にご利用者やご家族と向き合っ、傾聴し、共感し、皆さん自身の優しい気持ちで対応してほしいと願っています。

おわりに

コロナ禍が落ちつくように願っていましたが、願いは叶わずのようです。そんな環境ですが、できるだけ前向きに考えていきましょう。重要なのは、なぜやるのか、何が目的なのかを考えることです。そんな思考を持つと、対応策が見えてきませんか? 前向きにチャレンジすることは、私たちの誇りだと思います。そして、家族とご自身の健康も保つよう意識して仕事に励んで

ください。今年も皆さんの活躍に期待しています。

社会福祉法人健翔会

〒361-0007

埼玉県行田市小見 1141 番地 1

電話: 048-554-8815

FAX: 048-554-8814

URL: <https://kenshokai.net>

ブログ: <https://www.facebook.com/kenshokainet>